



# 南が丘通信

練馬区立南が丘中学校

校長 北見 朱美

令和元年度 第11号 令和2年3月10日発行

〒177-0035 練馬区南田中 4-8-23

TEL 03-3904-5782

URL <http://www.minamigaoka-j.nerima-ky.ed.jp>

## 教育目標

進んで学び深く考え、積極的に行動する人  
思いやりの心を持ち、互いに協力する人  
心身ともに健康で、創造力のある人



## あいさつ

副校長 長谷川 学

この度の新型コロナウイルス感染の拡大防止の対応につきましては、時間の経過とともに深刻度を増し、新たな課題や対応が求められているところです。

練馬区では、新型コロナウイルス感染症対策本部の要請に基づき、区立小学校、区立中学校、区立小中一貫教育校、令和2年3月2日（月曜）から春休みまで臨時休業となっております。

刻々と変化する状況の中です。今後の教育活動につきましては、練馬区および学校ホームページをご確認いただきますようお願い申し上げます。

さて、今回は、本校の生徒の活動を日頃から応援いただいている地域の方からのお手紙の内容を紹介します。

ある日のことです。二人の中学生が、その方の前を「いつも、ありがとうございます。」と言って通り過ぎて行ったそうです。そして、その方は、その中学生が南が丘中学校の生徒であることに気づかれました。しばらくすると、その二人の中学生が、わざわざ引き返ってきて「朝、いつも、ごあいさつしてくださる方ですよね！」と再びお礼を伝えたそうです。

そのお手紙は、「あまりの感動に、思わずペンを取りました。」という書き出して始まっていました。あふれるほどの喜びと感動に満ち溢れたお手紙でした。

いかがでしょうか。南が丘中学校は、あいさつの素晴らしい学校です。私は、このお手紙をいただき、改めて、南が丘中学校の生徒の素晴らしさに心を打たれました。南が丘中学校の生徒のあいさつは、学校の中だけであったり、特定の相手だけであったりというものではありません。南が丘中学校は、本物のあいさつが交わされる学校なのです。



星野富弘さん「小さな実」より

そして、何よりも、お手紙をいただいた地域の方は、日頃から、本校の生徒たちに、あいさつや声をかけてくださっていることにも感動を覚えました。

南が丘中学校の生徒の誇りの所為は、このような地域の方々とのかわりにあるのです。

あいさつは、心を温かくしてくれます。時には、元気や勇気を与えてくれます。そして、あいさつは、相手も自分も幸せにしてくれるものだということを今回のお手紙から改めて学ばせていただきました。

令和元年度の終わりにあたり、地域、保護者の皆様に、心より御礼申し上げます。

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

### ☆☆☆ 「黙とう」 ☆☆☆

明日は、3月11日（水）です。

各地において、東日本大震災九周年追悼式が行われることになっていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、下記のように追悼式を取り止めることが伝えられました。

国民の皆様へ

（東日本大震災九周年に当たって）

政府主催の「東日本大震災九周年追悼式」につきましては、規模縮小など新型コロナウイルスの感染拡大を防止する措置を講じた上で実施する方向でぎりぎりまで模索を続けてきましたが、現下の状況を踏まえ、今が国内における感染拡大を防止するために、あらゆる手を尽くすべき時期であることから、誠に遺憾ながら、開催を断念するのやむなきに至りました。御遺族を始めとした関係者の皆様にお詫び申し上げます。

東北地方を中心に未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から9年を迎えようとしています。

この震災によりかけがえのない多くの命が失われました。最愛の御家族や御親族、御友人を失われた方々のお気持ちを思うと、今なお哀惜の念に堪えません。

政府は、原発事故の被災者を含めいまだ多くの方々が避難され、不自由な生活を続けられている現実を心に刻み、復興に全力で取り組んでまいります。また、震災の大きな犠牲の上に得られた教訓を風化させることなく、また、相次ぐ自然災害の教訓を活かし、防災・減災、国土強靱化を進め、災害に強い故郷を創り上げてまいります。

この震災により犠牲となられた全ての方々に対し哀悼の意を表すべく、3月11日の午後2時46分に1分間の黙とうを捧げ、御冥福をお祈りしたいと考えております。国民の皆様におかれましても、これに合わせて、それぞれの場所において黙とうを捧げられますよう、お願いいたします。

なお、総理大臣官邸においては、当日、犠牲となられた方々の御霊に対して黙とうを捧げるとともに、私から追悼の言葉を申し述べさせていただきます。

令和2年3月6日

内閣総理大臣 安倍 晋三

3月11日（水）、本校では、「弔旗の掲揚」と2時46分に「黙とう」を行います。

今年は、開校40周年記念式典を執り行いました。また、3月19日（木）には、「卒業式」を執り行います。そして、3月25日（水）には、「修了式」を執り行います。これらは儀式です。

3月11日（水）の2時46分に行う「黙とう」も儀式の一つです。

私たちの祖先は、様々な困難を乗り越えるために、儀式を通して、その土地の人々の心を強く結びつけ、傷ついた心を癒やし、共に助け合うことをしてきました。

儀式は、堅苦しいものですが、私たちが、力強く生きていくための大切な誓いの場でもあります。決意と覚悟を定める場なのです。

「卒業式」や「修了式」は、三年生の皆さんをはじめ、これから進級を迎える二年生や一年生全員の誓いの場です。前を向いて、苦しいことから逃げず、困難を乗り越える生き方を選ぶ人たちにとっては、人生は、決して楽な道ではありません。辛いことや苦手なことを避け、チャレンジしない生き方を選べば苦しむことはないかもしれませんが、南が丘中学校の生徒の皆さんは、苦しいことや辛いことから逃げない人たちです。決意と覚悟をもらった人たちです。

3月19日（木）の「卒業式」、3月25日（水）の「修了式」は、決意、覚悟を定める場です。ですから、厳粛に行います。私語を慎み、服装を整え、姿勢を正して行います。

新型コロナウイルスの感染拡大防止の措置が取られ、そのための配慮や制限が設けられた「卒業式」、「修了式」となりますが、生徒の皆さん、保護者の皆様にとって、深く心に刻まれる儀式となることを心から願いお祝い申し上げます。

\*\*\*\*\*

